

第38回  
武蔵台夏祭り

# 住民の絆を育み、武蔵台の素晴らしさを発信できた 夏祭りは、地域活性化の発信源となりました！

こま武蔵台自治会会長 柳 沢 弘 二



多くの人たちに支えられた  
手作りの夏祭り、今年も天  
気に恵まれ、素晴らしいお  
祭りになりました。

2千世帯を越す方々が暮ら  
し、駅前から坂道で奥深くま  
で続く武蔵台地域に夏祭りを  
届けたい！里帰りをする若い  
世代の方々やその子供たちに  
夏の思い出の1ページを記憶  
に綴って欲しい！そんな思い  
を今年の夏祭りの企画・運営  
に込めました。

お囃子の音を公民館の広場  
で轟かせ、こども山車の巡行  
を公民館から中の田公園の祭  
り会場まで行いました。また、  
祭り第2会場としたショッピ  
ングセンターでは、中庭にミ  
ニSSLを走らせ、青空祭り市  
を開き、オープンテラスカフェ  
を設営しました。

祭りのメイン会場の中の田公  
園には、昨年より歓談テーブ  
ルを10テーブル増やし、地域  
の方々の交流の場を拡充しま

# 武蔵台だより

第354号

発行	こま武蔵台自治会
編集	☎ 982-3904 広報部
発行部数	2,500部 (単価47円)

また、事前の広報活動とし  
て、ポスターを作成し、地区  
内の掲示板に掲載すると併  
せ、飯能日高テレビにも地域  
の行事情報として放映して  
もらいました。

祭りは自治会の役員、班長  
さん、商店会、そして多くの  
地域の協力者の方々や団体の  
方々のボランティア活動によ  
り支えられました。暑かった  
夏の1日が、地域の方々の交  
流の場となり、武蔵台にゆか  
りを持つ方々が足を向け思い  
出を創った1日となりました  
ら、それは全ての関係者の思  
いが報われた時、と言っても  
よいのではないのでしょうか。

祭りにお出で頂いた方々が、  
「武蔵台の素晴らしさを発信」  
し、それが波紋のように広がっ  
ていくことが、武蔵台の地域  
活性化の源となっていくもの  
と確信しています。



### 平成29年度（7月） 第4回定例役員会報告

平成29年7月15日（土）

午後7時～9時20分

自治会館2F会議室

前半「夏祭り実行委員会」を支援協力者を交え（3）を議題後半その他議案を論議決定

#### ◆Ⅰ 協議事項◆

（1）移送サービス事業の進捗状況により説明

・今後の課題として「実施規程」、「会計処理規程」、「実施マニュアル」作定予定

・9月に自治会会員に説明会

・実車訓練を8月9日、同月4週、5週に予定

（2）自治会館改修工事の現状と見通し

・改修工事開始7月中旬が若干遅れている。

・サークルの会館利用もあり再度スケジュールを確認

（3）夏祭り8月5日（土）テーマ・武蔵台の素晴らしさを広く発信しよう！

①準備作業と進め方

・7月22日 ポスター掲示、電線点検

7月29日 櫓組立（外注化は来年度以降の課題とする）役員と地域協力者

・8月5日 午前、櫓装飾、テント張り、電線張り・提灯取付 役員、班長、

地域協力者

・山車の事前移動（自治会館から公民館駐車場）囃子連関係者、地域協力者

②8月5日祭り当日の役員行動

・ワーキンググループごとに作業工程と役割担当を明確化

・自治会模擬店 たこ焼き、焼き鳥、イベント応援隊を組織し対応

③第2会場・ショッピングセンターについて

・ミニSL、青空祭り市、オープンテラスカフェ

④撤収作業その他

◆Ⅱ 報告事項◆

（1）地区長からの報告

・大掃除の時期と外来生物繁殖時期との関係

（2）副会長・各専門部からの報告

①人手不足の中、労働契約と最賃比較を目安に、業務委託事務職員委託料の改定を提案、月水金1回4、000円（現3、000円）土1回1、600円（同1、200円）を了承、

役員会の自治会就労委託料は年度途中他の理由で据え置く

②会計部 平成29年度赤十字会員・協力会員・寄付実績（7月15日現在）総合計822件 377、760円

③広報部 広報誌「武蔵台だより」9月1日号の企画案と記事作成を依頼

④安全対策部

・日高市総合防災訓練実施説明会（武蔵台公民館において、班長対象）

・7月15日（土）10時から12時 1丁

目から3丁目

・7月16日（日）10時から12時 4丁目から7丁目

⑤環境衛生部

・7月2日第2回団地内大掃除の実施について協力に感謝

・排水管高圧洗浄の斡旋について

⑥文化厚生部 10月25日（水）秋の日

帰りバス旅行案内 8月1日再度回覧とホームページ7月17日アップ9月1日にバス旅行の参加者募集開始

⑦体育部 地区体育祭について（事務局より自治会役員の担当役割の要請）

◆Ⅲ 会長・区長からの報告◆

（1）会長

・7月10日（月）東大郊外住宅研究チームとミーティング

・7月11日（火）日高市市役所との区長要望ヒアリング

・7月20日（木）福祉ネット会議

（2）区長要望に対するヒアリング実施報告

①街路樹の植替え整備・3年計画の初年度要望・来期以降の課題

②地域内交通安全対策・ゾーン30の車輻速度規制・来期以降の課題

③滝不動通り一部ガードレール設置・来年の実施計画に盛り込まれる

（3）その他

木綿沢駐車場の11月15日閉鎖を、7月未までに東急リパブルより各利用者

に通知される。以上

### 平成29年度（8月） 第5回定例役員会報告

平成29年8月19日（土）

午後6時～7時

自治会館2F会議室

#### ◆Ⅰ 協議事項◆

（1）第38回夏祭りを終えて 祭り実行委員長・柳沢 総括と来年に向けてのとりまとめ 各班長の方からご意見をアンケート方式により聴取の予定。

（2）日高市総合防災訓練・8月27日（日）8時～ 安全対策部長・田中 安否確認訓練

・公民館での防災訓練

（3）地域行事への参加

・武蔵台・横手台地区体育祭・9月24日（日）

・事前広報活動による周知

・おにぎりの提供十味噌汁を自治会として提供予定。

・武蔵台公民館文化祭・10月14日（土）～15日（日）

・自治会としての参加・たこ焼き 両日役員有志により対応予定

（4）移送サービス実施の具体的進め方について

・ボランティア運転手の方を10名確保済み。実績計算に基づき1回（往復）利用料を予定。

・10月5日（木）午前11時から市長を

迎えシヨッピングセンターにて出発式を予定。

◆II 報告事項◆

- ① 地区長からの報告
- ① 1丁目 汚水処理場の臭いについて、自治会としては行政に申し入れをする。
- ① 5丁目 壁への子供のボール打ち付けについて、防止について回覧

- (2) 副会長・事務局、各専門部・専門委員会からの報告

①事務局

- ・会館改修工事見直し 県との関係で工事着工がやや遅れている。
- ② 会計部 平成29年度緑の募金 244,797円

③ 広報部

- ・ホームページ更新と広報誌「武蔵台だより」9月1日発行準備完了

④ 安全対策部

- ・車のタイヤにくぎを差し込む事件が発生 現在警察等と対応
- ・防災訓練についてと詐欺防止キャンペーン

⑤ 環境衛生部

- ・高圧洗浄についての申し込み585件 逐次業者にて対応予定
- ・9月30日(土) 自治会6丁目山林伐採ボランティア募集

⑥ 文化厚生部

- ・日帰りバス旅行・10月25日(水) 9月1日から募集開始

⑦ 体育部

- ・地区体育祭について

◆III 会長・区長からの報告◆

- (1) 会長・区長の予定

- ・8月14日(月) 飯能日高テレビとのミーティング
- ・8月19日(土) 地区体協・体育祭準備会議 公民館・文化祭準備会議
- ・8月22日(火) 東大・郊外住宅研究チーム

ムとのミーティング

- ・8月27日(日) 市防災訓練
- ・9月4日(月) 東大・郊外住宅研究チームとのミーティング
- ・9月9日(土) 武蔵台中30周年企画委員会
- ・9月20日(水) 武蔵台地区地域ケア

会議

- ・9月24日(日) 体育祭
- (2) 木綿沢駐車場の件
- ・日高市総合政策部長と面談(7月19日)
- ・日高都市ガス取締役と面談(8月16日)
- 以上

「移送サービス」やっと見えてきました実現のゴール

移送サービス推進チームリーダー 桂 好弘



平成23年より、移動困難者を対象に移動の自由を担保することを目指し、鋭意努力を重ねてきました。途中いろいろな障害にぶつかり紆余曲折もありましたが、皆様の励ましの声、ご協力をいただきなんとか実現の見通しがつきました。

武蔵台は、住めば感じる環境の素晴らしさがあると思います。周囲の自然環境のよさ、災害の少なさ、さらには、福祉施設・医療機関の充実が見られます。強いて言えば、交通アクセスの不十分さがあるとも言えるかもしれません。

都心への通勤・遠くへのお出かけもさることながら、日常生活のなかで最も大切な近場の移動にも坂道が多く、難儀する状態であり、とくに高齢者にとっては、大きな障害になっているものと捉えられています。

今後一層高齢化率が高まることが予想される状況の中で、高齢者を初めとする移動困難者の移動手助けをすることができるなら、この武蔵台の地域に元気がよみがえり、さらに住みよい場所の構築が可能になることが期待できます。

この「移送サービス事業」が一層充実した内容となるよう、今後、さらに地域の皆様との話し合いをおこなっていくつもりです。地域の手軽な足として便利に利用していただけるよう頑張っていきたいと思っています。

今後の主な作業としましては、次のようなことを予定しています。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

- ① 利用申し込み用電話番号ステッカーの各戸配布。
- ② 地域内各団体との協力の仕方等についての話し合い
- ③ 住民説明会 (9月中旬)

※移送サービス車輛の名付け親になっていただけませんか!!

次の要領で募集します。多くの皆様の応募を期待しています。

- 1. どなたでも応募できます。
- 2. 移送サービス車輛の名称 (回覧にて募集) 名前・住所・電話番号を記入し応募してください。
- 3. 提出先 自治会館又は班長さんに
- 4. 提出期限 9月22日(金)
- 5. 選考方法 自治会三役及び移送サービス推進チームの協議による。
- 6. 表彰 命名賞 佳作賞
- 7. 発表、表彰日 10月5日(木)



## 楽しい夏休みラジオ体操会

夏休みにラジオ体操に参加する子供達は年々少なくなってきました。武蔵台ラジオ体操会は、平成26年から住民有志が集まり天候に関係なく毎朝7時ショッピングセンター広場で行っています。体操会は健康増進と親睦の輪を深めていますが、学校の夏休みには子供達が規則正しく健康な毎日を過ごすよう応援しています。参加した子供達は配布された出席カードを首から下げ、毎朝その日の欄にきれいなシール貼りをして互いに見せ合い、最終日に自治会からの補助をうけて用意した参加賞を楽しみにして元気に頑張っています。

近年睡眠時間と睡眠の質の低下が健康に大きな問題をもたらしていると聴くことがあります。子どもの体調不良や学力にも影響があると警鐘を鳴らす方もいます。



早起きを心がけるには早寝をしなくてははいけません。ぐっすり睡眠をとるにはやはり運動が大切です。平均寿命より健康寿命と社会の目標も変わりました。いつも元気に笑顔で活動するために武蔵台の朝のラジオ体操はとても身近で手軽にできる健康法とい

えます。毎日参加の目標は難しいと思う方も多いため、まずは目標月1～2回からでも始めてみるのもいいとおもいませんか？

高齢化が進む武蔵台を子供達と住民のふれあいの中で、ラジオ体操会が地域の活性化と活気に満ちた環境づくりに寄与できればと願っています。ラジオ体操はこれからも継続していきますので皆さまのご参加をお待ちしています。

武蔵台ラジオ体操会・会長 平野光啓

## ー文化厚生部よりー

文化厚生部部长  
鳥井章男



### 10月25日(水) 秋の日帰りバス旅行参加募集のお知らせ

自治会では夏祭りが終わると、秋のバス旅行が楽しみのイベントになります。

今年の行先は静岡県、三島スカイウォークと白糸の滝です。既に7月1日及び8月1日の回覧で企画内容をお知らせし、自治会の掲示板にて案内広告を出しておりますので、皆様ご存じと思いますが、バス旅行の申込受付は9月1日からです。既に受付は始まっていますので、旅行参加ご希望の方は自治会館への電話(982-3904)にてお早めにお申し込み下

さい。

大型バス2台、94名の参加を予定しておりますが、定員になり次第受付終了となりますのでご了承下さい。三島スカイウォークは新しい観光スポットで、歩行者専用の日本一長い大吊橋です(距離400m、高さ70m)。富士山、駿河湾、箱根山など一望の景観が素晴らしい所です。バス旅行は住民同士の交流の機会でもありますので、奮ってご参加下さい。

### 9月13日(水) 武蔵台サロン開催について

9月の武蔵台サロンは「川柳教室」です。暮らしの中の事柄を「五、七、五」で詠んでみましょう。川柳作りは簡単です。「サラリーマン川柳」「シルバー川柳」などの名句を観笑してその極意をつかみましょう。楽しいひと時が過ごせますよ。

講師は文化厚生部長の鳥井がつとめます。皆様のご参加をお待ち致します。

9月13日(水) 午後1時～2時 自治会館で開催します。

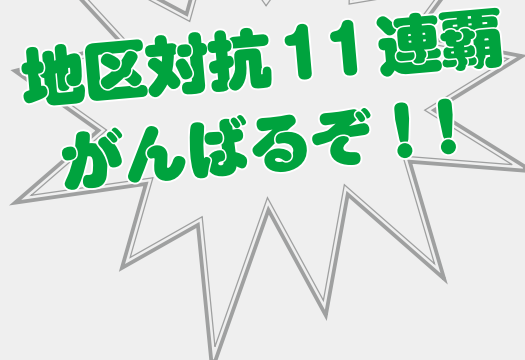
2時～3時は、包括支援センターの「介護教室」で、口コモ体操などを行います。

注) 当日の「くりくり元気体操」は午前10時～11時半の開催になります。

# 地区体育祭に参加しよう!!



体育部部长 皆川泰山



いよいよ秋恒例の地区体育祭が開催されます。

毎年、手に汗にぎる展開となる武蔵台と横手台の地区対抗戦は、紅白玉入れ、レスキュー綱引き、ボール送り、障害物競争、地区対抗リレーの5種目です。

得点に関係ない種目もたくさんあります。

大いに参加して賞品をゲットしてみたいかがでしょうか。

一日楽しく過ごすことができます。

皆さんの参加をお待ちしています。

なお、地区対抗種目の選手募集については、「回覧」で各戸に回りますので、申し込んで下さい。

## ペタンク大会

6月11日(日)

の午前中、武蔵台小学校グラウンドで開催されました。爽やかな初夏の風のもと、老いも若きも和やかに参加して楽しいひとときを過ごしました。

31名の参加者が10チーム(3人編成)を作り、10分間のトーナメント方式で競技を行いました。このゲームは縦15メートル×横5メートルのコート内に小さな目標球が



### リレー随想

#### 子育ての場所として

武蔵台に住んで5年になります。以前は1DKのアパートに住んでいて、夜でもトラックが通るような道路に面していて、歩道が無いところでした。子どもが産まれてこれから育てていく上でのびのびと安心して暮らせる家を探して、ここを見つけました。閑静で道路も広く歩道もある(しかも広い)。学校も病院も駅も

置かれ、テニスボールほどの金属製の自球を相手よりいかに近くに投げるかを競うものです。一見簡単に見えますが、コートチェンジするたびに変化するコート面の凹凸や各自の持ち玉2球で即応する作戦と技術：そして明暗を分ける運もあり、意外に奥が深い競技だと感じました。見守る役員の中から「どうも昔フランスの船員さんが始めたらしい」などといった話し声が聞こえましたが、100年以上の伝統誇る競技のようです。しかもこの日4歳から91歳の方々が参加されたことからわかるように誰でも楽しめるゲームです。「やったー!」「悔しい!」と言う歓声があちこちに上がり、優勝チームにはお米が。来年はもっと多くの参加者をお待ちしています。

H・M

近い。2、3年はかかると思っていた家探しが1カ月で決まりました。実際に住んでみて良かったなと思っています。川が近くにあるので、夏は子どもたちが喜んで川遊びやバーベキューを楽しんでいます。幼稚園や学校の環境も良く、楽しく過ごせています。少し田舎なので全く不便がないわけではないのですが、それを差し引いても良いところもたくさんあるので、考え次第で不変も楽しめるのかなと思います。

N・I

## わが街・わが地域・わが暮らしの豆知識

今年3月19日に『椅子作り - パーベキュー』イベントがショッピングセンター広場で行われました。木楽里（きらり）工房井上さんの指導を受け、西川材の杉を使い、ほぞ組み構造の一人座りの椅子10脚を、60人を超える参加者で組み立てました。現在、店先や広場で有効活用されています。その際、日高市や飯能市とも縁が深い貴重な西川材の歴史のお話を伺いました。（広報担当記）

### 西川材の歴史

木楽里・井上淳治



「西川材」とは、越辺川、高麗川、入間川流域の森林から産出される木材のことをこのように呼ばれています。江戸時代中期以降、この三流域から荒川を経て、江戸の千住・深川に盛んに木材が流送されていました。江戸の材木

商の間で「西の川から送られてくる木材」ということからいつしかこのように呼ばれるようになったと言われています。全国の有名な木材産地は、吉野材や尾鷲材のように地名で呼ばれていますが、西川だけが地名ではなくこのように呼ばれています。

江戸時代、人口百万の暮らしを支えるため、全国各地から江戸に木材が供給されていたことでしょう。しかし、関東において江戸の人が他の地域の木材に名前を付けて呼んでいた事例はありません。なぜ、当地域だけ「西川材」と名前が付けられたのでしょうか。

その理由としてふたつのことが考えられます。ひとつは、材質の良さでしょう。木材の質は、育て方にも関係しますが、土壌や気候などの自然因子によるところが大きく、現在でも良質なスギやヒノキが産出されているので、当時も吉野・尾鷲に引けを取らない材質という評価を得ていたのではないかと思います。

もうひとつ考えられる理由が、安定供給です。今では、木を植えて育てその木を伐採して利用するのが当然と思われていますが、当時は、自然に生えて大きくなった木を必要なときに伐って使うことが主流でした。西川林業地では、江戸中期より植林が奨励され、実践されていました。そして、明治期には、すでに育林方法が確立されていたようです。このことから、当地域では早くからスギやヒノキを商品として認識し、そしてそれを安定的に供給していたと推測されます。

この質の良さと安定供給というふたつの理由で江戸の人が西川材と名付けたのではないかと思います。

このように西川林業地は森林面積が約2万haと他の林業地に比べ区域面積がせまいのですが、材質の良さで知られてきた、典型的な量より質を売りにする林業地です。

この西川林業が、いや、日本の林業が今危機的状況にあります。木材価格の下落により、伐採した後は補助金に頼らなければ自力で再造林することが出来ません。さらに、良質の木材がその価値を認められない時代になっています。これらは簡単に解決できるものではありませんが、木の良さを多くの人に知ってもらい、その価値に見合った価格で使ってもらうことが、日本の林業を再興するひとつの道であると考えます。

西川林業を日本の林業をさらに日本人が培ってきた木の文化を絶やさないために。

今年の夏祭りもお陰様で無事に終えることができました。夏休みにラジオ体操を始めた方もあると思います。武蔵台の体操会のラジオ体操は今年8月で4年を迎え、毎日ほぼ1年中雨の日も雪の日も晴れの日も行っています。健康で活力のある健康寿命を延ばせるように、自治会も体育部、文化厚生部等で取り組んでいます。秋の体育祭などを利用され皆様健康で日常活動ができるようにしていきたいと思えます。来月には移送サービスがいよいよ開始されます。デマンド方式により必要なときにご自宅まで迎えに来てくれます。帰りも含めて利用条件にあう皆様のご利用が多く出てくることを希望しております。

（広報担当小林）

### 編集後記

#### お忘れ物告知

去る8月5日（土）開催の夏祭りにて今年も落とし物、お忘れ物がいくつか自治会館に届いております。お心当たりの方は一度自治会館までお越しください。お引き取りがない物については10月末には処分させていただきますので、よろしくお願いたします。